

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社

上場取引所 東

コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 駿

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4410

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	49,878	△32.6	4,818	△49.5	5,857	△43.7	2,843	△40.8
21年3月期第3四半期	74,041	—	9,544	—	10,406	—	4,800	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	45.87	—
21年3月期第3四半期	75.54	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	115,004	73,729	53.7	996.91
21年3月期	111,088	69,774	52.8	945.96

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 61,786百万円 21年3月期 58,632百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
22年3月期	—	10.00	—		
22年3月期 (予想)				10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	△24.0	7,300	△21.9	8,300	△15.6	3,900	△12.2	62.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、6ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、6ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	66,302,262株	21年3月期	66,302,262株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	4,324,065株	21年3月期	4,319,956株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	61,980,232株	21年3月期第3四半期	63,545,613株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の連結業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記連結業績予想に関する事項は、5ページをご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）の世界経済は、中国を中心とするアジア各国の回復が鮮明となり、欧米でも改善の兆しが見え始めてまいりました。一方、国内経済は、輸出の回復や在庫調整の一巡など、企業の生産活動は緩やかながら向上してまいりましたが、所得の減少やデフレの懸念などもあり、依然として個人消費は低調に推移するなど本格的な回復には至っておりません。

金属表面改質の事業環境につきましては、主要取引先であります自動車業界では、輸出の減少と国内需要の低迷から生産台数は大きく減少する見込みですが、エコカー減税政策などにより、夏以降は徐々に持ち直してまいりました。また、鉄鋼業界も大変厳しい状況で推移しておりますが、東アジアなどの需要が改善してまいりました。この結果、金属表面改質の需要も緩やかに向上してまいりました。

このような経営環境において当社グループでは、将来を見据えた競争力のある新技術の創出とその市場展開を強化するとともに、既存市場の拡大とあらゆるコストの削減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の連結業績は次のようになりました。

## 【連結決算の概況】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第3四半期累計期間 (平成22年3月期)	49,878	4,818	5,857	2,843
前第3四半期累計期間 (平成21年3月期)	74,041	9,544	10,406	4,800
増減金額	△24,163	△4,725	△4,549	△1,956
増減率	△32.6%	△49.5%	△43.7%	△40.8%

当第3四半期累計期間の**売上高**は49,878百万円と前年同期に比べ△24,163百万円(△32.6%)の減収で推移いたしました。前年同期比で大幅な減収となる大変厳しい状況ですが、主力事業である薬品事業と加工事業の売上高は、ユーザーの生産活動の回復に伴い増加する傾向で推移しております。しかしながら、自動車業界などの設備投資の減少により、装置事業は依然として低水準で推移しております。

**営業利益**は4,818百万円と前年同期に比べ△4,725百万円(△49.5%)の減益で推移いたしました。売上高の大幅な減少により収益面でも厳しい状況が続いておりますが、第3四半期会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日）の営業利益は2,482百万円と前年同四半期比で△185百万円(△6.9%)と減少幅が大きく改善いたしました。

営業外の損益では、受取配当金や持分法による投資利益の減少など営業外収益が△337百万円減少した一方で、為替差損の減少など営業外費用も△513百万円減少したことから、営業外収支は176百万円増加し、**経常利益**は5,857百万円と前年同期に比べ△4,549百万円(△43.7%)の減益となりました。また、第3四半期会計期間の経常利益は2,884百万円と前年同四半期比で65百万円(2.3%)上回りました。

特別損益では、保有株式の時価下落による投資有価証券評価損など特別損失を592百万円計上いたしましたので、**四半期純利益**は2,843百万円と前年同期に比べ△1,956百万円(△40.8%)の減益となりました。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

事業の種類	外部顧客に対する売上高				営業利益			
	当第3 四半期	前第3 四半期	増減額	増減率	当第3 四半期	前第3 四半期	増減額	増減率
薬品事業	23,237	31,185	△7,947	△25.5%	5,254	6,412	△1,158	△18.1%
装置事業	6,082	12,193	△6,110	△50.1%	44	494	△450	△91.0%
加工事業	18,343	28,090	△9,746	△34.7%	2,261	5,547	△3,285	△59.2%
その他の事業	2,214	2,572	△358	△13.9%	199	203	△4	△2.1%
消去	—	—	—	—	△2,940	△3,113	173	—
連結	49,878	74,041	△24,163	△32.6%	4,818	9,544	△4,725	△49.5%

**薬品事業の売上高**は23,237百万円と前年同期に比べ△7,947百万円(△25.5%)の減収となり、**営業利益**は5,254百万円と△1,158百万円(△18.1%)の減益となりました。当事業部門は、耐食性、耐磨耗性、潤滑性などの機能性向上を目的に、金属などの表面に化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しておりますが、自動車、鉄鋼業界を始めとした各ユーザーの生産状況は徐々に改善し始めており、金属表面処理剤やニッケルめっき液などの需要も緩やかに回復してまいりました。四半期毎の売上高は、前第4四半期会計期間の5,977百万円を底に、当第1四半期会計期間6,466百万円、当第2四半期会計期間7,997百万円、当第3四半期会計期間8,772百万円で推移しております。

**装置事業の売上高**は6,082百万円と前年同期に比べ△6,110百万円(△50.1%)の減収となり、**営業利益**は44百万円と△450百万円の減益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しておりますが、中国での前処理設備の受注は比較的順調に推移しているものの、急激な景気減速により設備投資が減少し、国内及びアジア諸国では厳しい状況で推移しております。

**加工事業の売上高**は18,343百万円と前年同期に比べ△9,746百万円(△34.7%)の減収となり、**営業利益**は2,261百万円と△3,285百万円(△59.2%)の減益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しておりますが、国内外ともに自動車部品や機械部品などの加工品の受注減少により低迷しております。しかしながら、当第3四半期会計期間での営業利益は1,264百万円まで回復いたしました。四半期毎の売上高は、前第4四半期会計期間5,453百万円、当第1四半期会計期間5,142百万円、当第2四半期会計期間6,168百万円、当第3四半期会計期間7,032百万円で推移しております。

**その他の事業の売上高**は2,214百万円と前年同期に比べ△358百万円(△13.9%)の減収となり、**営業利益**は199百万円と△4百万円(△2.1%)の減益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを営んでおりますが、不動産賃貸事業やリース事業など景気の影響を短期的には受けづらい事業も含まれており底堅く推移いたしました。

#### 【所在地別セグメントの概況】

(単位：百万円)

所在地	外部顧客に対する売上高				営業利益			
	当第3 四半期	前第3 四半期	増減額	増減率	当第3 四半期	前第3 四半期	増減額	増減率
日 本	38,966	55,974	△17,008	△30.4%	7,084	10,144	△3,059	△30.2%
ア ジ ア	9,244	14,759	△5,515	△37.4%	777	2,171	△1,393	△64.2%
欧 米	1,668	3,307	△1,639	△49.6%	△116	355	△471	—
消 去	—	—	—	—	△2,927	△3,127	199	—
連 結	49,878	74,041	△24,163	△32.6%	4,818	9,544	△4,725	△49.5%

**日本国内の売上高**は38,966百万円と前年同期に比べ△17,008百万円(△30.4%)の減収となり、**営業利益**は7,084百万円と△3,059百万円(△30.2%)の減益となりました。大幅な減収減益で推移しておりますが、四半期毎の営業利益は、前第4四半期会計期間190百万円、当第1四半期会計期間1,422百万円、当第2四半期会計期間2,603百万円、当第3四半期会計期間3,058百万円と回復する傾向で推移しております。

**アジア地域の売上高**は9,244百万円と前年同期に比べ△5,515百万円(△37.4%)の減収となり、**営業利益**は777百万円と△1,393百万円(△64.2%)の減益となりました。国内と同様に大幅な減収減益で推移しておりますが、タイ、インドネシアなどの業績が改善されつつあり、当第3四半期会計期間の営業利益は492百万円と持ち直してまいりました。

**欧米地域の売上高**は1,668百万円と前年同期に比べ△1,639百万円(△49.6%)の減収となり、**営業利益**は△116百万円と△471百万円(前第3四半期累計期間は355百万円の黒字)の減益となりました。米国の加工事業が自動車生産の減少を受け低迷しておりますが、ようやく単月度で黒字に転じるなど徐々に改善してまいりました。

前年同期との為替換算レートの差額による影響額は、アジア・欧米地域の合算で、売上高で△2,109百万円、営業利益で△181百万円となっております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産等の状況に関する分析)

**資産合計**は、前連結会計年度末と比較し3,916百万円増加し115,004百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では、現金及び預金が698百万円、受取手形及び売掛金が3,572百万円増加した一方で、たな卸資産が1,352百万円減少いたしました。固定資産では、保有株式の時価の増加などにより投資有価証券が1,818百万円増加した一方で、繰延税金資産が944百万円減少いたしました。

**負債合計**は、前連結会計年度末と比較し38百万円減少し41,275百万円となりました。主な増減といたしましては、前受金などの増加により流動負債のその他が1,407百万円増加した一方で、賞与引当金が712百万円、長期借入金が467百万円それぞれ減少いたしました。

少数株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し3,954百万円増加し73,729百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が1,486百万円、その他有価証券評価差額金が1,228百万円、少数株主持分が800百万円それぞれ増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は、53.7%と前連結会計年度末から0.9%増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

**営業活動によるキャッシュ・フロー**は、5,950百万円の収入となりました。主な増加項目といたしましては、税金等調整前四半期純利益は5,280百万円、減価償却費が2,823百万円、たな卸資産の増減額が1,385百万円であり、主な減少項目は、売上債権の増減額が3,563百万円、法人税等の支払額が1,598百万円であります。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**は、3,407百万円の支出となりました。主な減少項目といたしましては、生産設備の増強等のための有形固定資産の取得による支出が2,770百万円であります。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**は、2,182百万円の支出となりました。主な減少項目といたしましては、短期・長期借入金を合わせた純額で450百万円、配当金の支払額1,366百万円であります。当第3四半期累計期間では、現金及び現金同等物に係る換算差額で83百万円増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ439百万円増加し、17,514百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

(通期の見通し)

景気の先行きは不透明であり、金属表面改質の需要動向も大変見極めにくい状況が続いておりますが、当社グループの連結業績を現段階で検討いたしました結果、第2四半期の決算短信(平成21年11月9日)で公表いたしました連結業績予想から、売上高では69,000百万円と2,000百万円程度の増収となり、営業利益は7,300百万円と1,000百万円程度の増益となる見込みです。持分法投資利益なども予想を上回ることから、経常利益は8,300百万円と1,500百万円程度の増益、当期純利益は3,900百万円と1,100百万円程度の増益となる見込みです。

今後とも当社グループは、国内外の市場ニーズを着実に捉え、迅速に対応していくとともに、環境を重視した次世代技術の研究開発に積極的に取り組み、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

## 平成22年3月期連結業績の見通し

	前回予想	今回予想	前期比	増減率
売上高	67,000百万円	69,000百万円	△21,807百万円	△24.0%
営業利益	6,300百万円	7,300百万円	△2,047百万円	△21.9%
経常利益	6,800百万円	8,300百万円	△1,528百万円	△15.6%
当期純利益	2,800百万円	3,900百万円	△539百万円	△12.2%

[通期業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢、市場の動向、為替レートなどにより変動する可能性があります。]

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ① 簡便な会計処理

###### 1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### 2) 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

###### 3) 原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に事業の種類別セグメント区分により実施する方法によっております。

###### 4) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法を一部の連結子会社で採用しております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### 5) 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

###### 6) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

###### 7) 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

###### 連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内での当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

###### 連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

###### 8) 未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

###### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

###### 1) 税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

四半期連結貸借対照表の表示方法の変更

前第3四半期連結会計期間末において、有形固定資産の「その他(純額)」に含めておりました「建物及び構築物(純額)」は、資産総額の100分の10を超えたため、当第3四半期連結会計期間末では区分掲記しております。なお、前第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」に含まれております「建物及び構築物(純額)」は12,776百万円であります。

## 5.【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,483	19,784
受取手形及び売掛金	※5, ※6 24,433	※5, ※6 20,861
商品及び製品	1,618	1,874
仕掛品	1,361	1,850
原材料及び貯蔵品	2,776	3,384
その他	2,668	2,966
貸倒引当金	△57	△60
流動資産合計	53,284	50,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,096	12,082
土地	14,364	14,343
その他(純額)	9,414	9,462
有形固定資産合計	※1, ※3 35,875	※1, ※3 35,889
無形固定資産	※2 1,974	※2 1,905
投資その他の資産		
投資有価証券	17,177	15,358
その他	7,049	7,631
貸倒引当金	△357	△358
投資その他の資産合計	23,869	22,632
固定資産合計	61,720	60,427
資産合計	115,004	111,088
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※6 11,073	※6 11,243
短期借入金	※3 5,707	※3 5,478
1年内返済予定の長期借入金	※3 826	※3 1,125
未払法人税等	649	506
賞与引当金	999	1,712
その他	6,197	4,789
流動負債合計	25,454	24,855
固定負債		
長期借入金	※3 4,293	※3 4,761
退職給付引当金	10,219	10,421
その他	1,308	1,275
固定負債合計	15,821	16,458
負債合計	41,275	41,313



(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,913
利益剰余金	57,935	56,448
自己株式	※3 △3,609	※3 △3,605
株主資本合計	62,799	61,316
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,442	1,214
繰延ヘッジ損益	△267	△515
為替換算調整勘定	△3,187	△3,382
評価・換算差額等合計	△1,012	△2,683
少数株主持分	11,942	11,141
純資産合計	73,729	69,774
負債純資産合計	115,004	111,088

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	74,041	49,878
売上原価	48,946	32,108
売上総利益	25,095	17,769
販売費及び一般管理費	*1 15,550	*1 12,950
営業利益	9,544	4,818
営業外収益		
受取利息	166	68
受取配当金	376	228
受取賃貸料	231	250
持分法による投資利益	489	340
その他	355	393
営業外収益合計	1,619	1,281
営業外費用		
支払利息	180	157
為替差損	370	8
支払手数料	119	—
その他	86	77
営業外費用合計	756	243
経常利益	10,406	5,857
特別利益		
固定資産売却益	18	11
投資有価証券売却益	38	—
その他	3	3
特別利益合計	61	15
特別損失		
投資有価証券評価損	1,075	520
その他	64	71
特別損失合計	1,140	592
税金等調整前四半期純利益	9,326	5,280
法人税等	*2 3,378	*2 1,885
少数株主利益	1,147	552
四半期純利益	4,800	2,843

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,326	5,280
減価償却費	3,156	2,823
減損損失	14	30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,293	△712
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△83	△166
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	64	△39
受取利息及び受取配当金	△542	△297
支払利息	180	157
為替差損益(△は益)	372	7
持分法による投資損益(△は益)	△489	△340
有形固定資産除却損	38	12
投資有価証券評価損益(△は益)	1,075	520
売上債権の増減額(△は増加)	1,599	△3,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,060	1,385
前渡金の増減額(△は増加)	361	160
仕入債務の増減額(△は減少)	△802	△221
未払金の増減額(△は減少)	△1,114	28
未払費用の増減額(△は減少)	439	167
前受金の増減額(△は減少)	2,044	1,577
未払消費税等の増減額(△は減少)	△223	241
預り金の増減額(△は減少)	307	119
その他	△429	129
小計	10,927	7,297
利息及び配当金の受取額	703	408
利息の支払額	△191	△156
法人税等の支払額	△5,111	△1,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,328	5,950
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,581	△2,770
有形固定資産の売却による収入	28	25
投資有価証券の取得による支出	△804	△233
投資有価証券の売却による収入	755	0
定期預金の預入による支出	△990	△412
定期預金の払戻による収入	140	163
子会社株式の取得による支出	△57	—
その他	△223	△179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,732	△3,407

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,645	2,119
短期借入金の返済による支出	△8,538	△1,819
長期借入れによる収入	1,502	698
長期借入金の返済による支出	△2,913	△1,448
自己株式の取得による支出	△1,011	△5
配当金の支払額	△1,561	△1,366
少数株主への配当金の支払額	△240	△205
その他	△93	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,211	△2,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,333	83
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,949	444
現金及び現金同等物の期首残高	20,515	17,075
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△5
現金及び現金同等物の四半期末残高	*1 17,565	*1 17,514

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	薬品 事業	装置 事業	加工 事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	31,185	12,193	28,090	2,572	74,041	—	74,041
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,036	123	18	1,293	2,472	(2,472)	—
計	32,222	12,316	28,108	3,866	76,513	(2,472)	74,041
営業費用	25,809	11,822	22,561	3,662	63,856	641	64,497
営業利益	6,412	494	5,547	203	12,657	(3,113)	9,544

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	薬品 事業	装置 事業	加工 事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	23,237	6,082	18,343	2,214	49,878	—	49,878
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	866	244	18	1,039	2,169	(2,169)	—
計	24,103	6,327	18,362	3,254	52,047	(2,169)	49,878
営業費用	18,849	6,282	16,101	3,055	44,288	770	45,059
営業利益	5,254	44	2,261	199	7,759	(2,940)	4,818

## b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	55,974	14,759	3,307	74,041	—	74,041
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,472	142	—	2,614	(2,614)	—
計	58,446	14,902	3,307	76,656	(2,614)	74,041
営業費用	48,302	12,730	2,952	63,985	512	64,497
営業利益	10,144	2,171	355	12,671	(3,127)	9,544

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	38,966	9,244	1,668	49,878	—	49,878
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,833	7	14	1,855	(1,855)	—
計	40,799	9,251	1,682	51,733	(1,855)	49,878
営業費用	33,714	8,474	1,798	43,987	1,072	45,059
営業利益又は営業損失(△)	7,084	777	△116	7,746	(2,927)	4,818

## c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他の地域	計
I.海外売上高	16,559	2,995	1,249	20,804
II.連結売上高				74,041
III.連結売上高に占める 海外売上高の割合	22.4%	4.0%	1.7%	28.1%

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他の地域	計
I.海外売上高	11,119	1,511	477	13,109
II.連結売上高				49,878
III.連結売上高に占める 海外売上高の割合	22.3%	3.0%	1.0%	26.3%

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 注記事項

## (四半期連結貸借対照表関係)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※1	有形固定資産から直接控除した償却累計額は、47,828百万円であります。	有形固定資産から直接控除した償却累計額は、45,677百万円であります。
※2	のれん 104百万円 その他 1,870	のれん 139百万円 その他 1,766
※3	担保資産 (1) 担保に供している資産 建物 893百万円 構築物 2 土地 1,101 自己株式 436 合計 2,433 (2) 担保資産に対応する債務 短期借入金 700百万円 一年以内返済予定の 長期借入金 97 長期借入金 980 合計 1,777	担保資産 (1) 担保に供している資産 建物 1,057百万円 構築物 2 土地 1,267 自己株式 436 合計 2,763 (2) 担保資産に対応する債務 短期借入金 1,090百万円 一年以内返済予定の 長期借入金 164 長期借入金 1,075 合計 2,329
4	偶発債務 連結会社以外の下記会社の金融機関借入金に対し債務保証を行っております。 ミリオン化学(株) 590百万円 瀋陽パーカライジング 173 合計 763	偶発債務 連結会社以外の下記会社の金融機関借入金に対し債務保証を行っております。 ミリオン化学(株) 486百万円 瀋陽パーカライジング 50 合計 536
※5	受取手形割引高は、46百万円であります。	受取手形割引高は、39百万円であります。
※6	四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。 受取手形 278百万円 支払手形 589	

## (四半期連結損益計算書関係)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
※1	販売費及び一般管理費のうち主要な科目及び金額は、次のとおりであります。 従業員給料 4,509百万円 賞与 1,553 法定福利費 924 旅費交通費 713 運送費 1,205	販売費及び一般管理費のうち主要な科目及び金額は、次のとおりであります。 従業員給料 4,254百万円 賞与引当金繰入額 701 賞与 975 法定福利費 838 運送費 885
※2	当四半期連結会計期間における税金費用については、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理により計算しているため、「法人税及び事業税と法人税等調整額」は、「法人税等合計」に一括して表示しております。	当四半期連結会計期間における税金費用については、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理により計算しているため、「法人税及び事業税と法人税等調整額」は、「法人税等合計」に一括して表示しております。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
※1	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
	現金及び預金	現金及び預金	20,483百万円
	預金期間が3ヶ月を超える	預金期間が3ヶ月を超える	△2,968
	定期預金	定期預金	
	現金及び現金同等物	現金及び現金同等物	17,514
	19,651百万円		
	△2,085		
	17,565		



## (参考資料)

## 最近における四半期毎の業績の推移(連結)

平成22年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 21年4月～21年6月	第2四半期 21年7月～21年9月	第3四半期 21年10月～21年12月	第4四半期 22年1月～22年3月	第3四半期通算 21年4月～21年12月
売上高	14,692	17,570	17,615		49,878
売上総利益	4,618	6,257	6,893		17,769
営業利益	375	1,960	2,482		4,818
経常利益	672	2,299	2,884		5,857
税金等調整前当期純利益	642	1,771	2,866		5,280
当期純利益	268	945	1,629		2,843
総資産	111,008	112,525	115,004		—
純資産	71,566	72,884	73,729		—

平成21年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 20年4月～20年6月	第2四半期 20年7月～20年9月	第3四半期 20年10月～20年12月	第4四半期 21年1月～21年3月	通算 20年4月～21年3月
売上高	25,303	25,680	23,057	16,765	90,807
売上総利益	8,796	8,511	7,786	3,897	28,992
営業利益	3,475	3,401	2,667	△197	9,347
経常利益	3,815	3,771	2,819	△577	9,828
税金等調整前当期純利益	3,773	3,530	2,022	△208	9,117
当期純利益	1,902	1,857	1,040	△360	4,439
総資産	133,462	131,498	126,528	111,088	—
純資産	76,225	77,350	74,456	69,774	—

平成20年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 19年4月～19年6月	第2四半期 19年7月～19年9月	第3四半期 19年10月～19年12月	第4四半期 20年1月～20年3月	通算 19年4月～20年3月
売上高	23,680	24,458	27,047	28,303	103,489
売上総利益	7,943	8,278	9,568	9,231	35,021
営業利益	2,715	3,380	4,320	3,723	14,140
経常利益	3,347	3,761	4,608	3,747	15,464
税金等調整前当期純利益	3,356	3,692	4,445	3,566	15,060
当期純利益	1,725	2,161	2,517	1,683	8,088
総資産	135,087	135,482	141,333	132,595	—
純資産	76,666	78,108	77,355	77,240	—